茶室・松韻亭について

浜松城公園の奥まったところにある建物。それが茶室・松韻亭です。松韻亭は憩いの場であるとともに教育的な施設でもあります。浜松城公園を訪れた人々は誰でもここに立ち寄って、緑茶と和菓子を味わうことができます。松韻亭は日本中から集まる茶人たちの正式な茶会場の場として利用されるほか、茶道をより深く学びたい人々はここで茶道の個人指導を受けることができます。

松韻亭の優美な木造建築は、世界的に評価されている建築家谷口吉生（1937年～）さんによって設計され、1997年に完成しました。谷口さんのミニマリストの設計によってこの茶室は木々の多い周囲の環境と溶け込んでいます。

主棟である茶室の大きな障子を開け放すと、洗練された石庭を眺めることができます。この庭園は主棟からの眺めが最もよくなるように設計されています。四季の移ろいは日本建築と茶道文化の主要なテーマであり、それは松韻亭を囲む森にもはっきり表れています。この森は春や夏は鮮やかな緑ですが、秋になると深紅に紅葉します。同様に、松韻亭でふるまわれるお茶と和菓子も季節ごとに変わります。